

# 省人化・省力化 令和元年

NKE社長 中村 道一氏

## インタビュー



「自動化要望は高い。機械の自動化を主眼にしたファクトリーオートメーションは基本だが『ヒューマナイス・オートメーション』と呼んでいる、生産に従事する人の効率化を実現して自動化を追求する時代だ」

「生産工程全体を見渡せば、工程間をつなぐ搬送がポイントになる。当社では高度化・自動化する生産プロセスを分析し、最短距離などより効率的にモノを流せる搬送システムを提案している」

「具体的には、」

「注力する製品は、」

## 効率的な搬送システム提案

「『CH91B』は従来比半分の軽量チャックで、タクトタイム短縮など生産スピードが上がる。また、人の負荷軽減で効率化にアプローチしている。独自開発の人工筋肉を使用した腰背部サポーター『腰助くん』は作業者の腰をサポートする。高齢者の作業支援につながる、これも効率化の一つだ。簡易メール通報機器『れんら君』は設備や環境のちよつとした変化をメールで自動通知する。温度やデマンドなどを監視し、寿命試験の省人化を実現する」